

予 算 要 求 資 料

令和5年度当初予算

支出科目 款：民生費 項：社会福祉費 目：地方改善費

事業名 地方改善環境整備事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

環境生活部 人権施策推進課 同和施策係 電話番号：058-272-1111 (内3051)

E-mail：c11227@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 500 千円 (前年度予算額： 500 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	500	0	0	0	0	0	0	0	500
要求額	500	0	0	0	0	0	0	0	500
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

- 地方改善を促進するため、市町村が生活環境等の安定・向上を図る必要のある地域における改善事業を行うために要する経費について補助する。

(2) 事業内容

- 地方改善施設の災害等への対応

(3) 県負担・補助率の考え方

- ・ 国庫補助の要件に満たない事業を対象としている。

(4) 類似事業の有無

- ・ 無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	500	地方改善施設の災害等の対応に要する経費
合計	500	

決定額の考え方

--

県単独補助金事業評価調書

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	地方改善環境整備事業費補助金
補助事業者（団体）	市町村 (理由) 地方改善施設の管理者である市町村への支援
補助事業の概要	(目的) 地方改善の促進 (内容) 市町村が、生活環境等の安定・向上を図る必要がある地域における改善事業を行う経費のうち、「知事が特に認めた経費」に補助。 「地方改善施設整備費補助金（国庫）」の補助要件に満たない事業を対象とする。
補助率・補助単価等	定率 (内容) 事業費の3分の1以内で補助 (理由) 災害等の対応に係る事業のうち国庫補助の要件に満たない事業を対象に迅速に支援を実施
補助効果	地方改善を促進する
終期の設定	終期令和5年度 (理由) 地方改善施設における災害時等の対応に備える必要がある。

(事業目標)

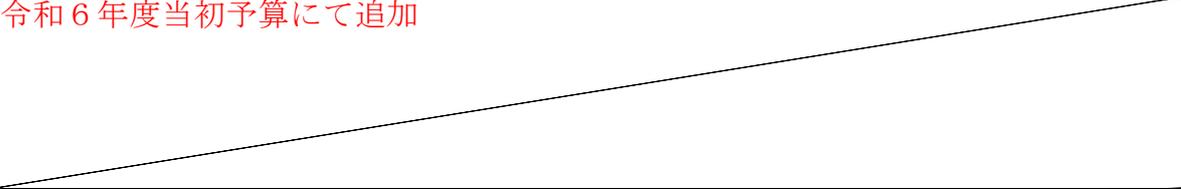
<p>・終期までに何をどのような状態にしたいのか</p> <p>市町村が実施する生活環境等の安定・向上を図る必要がある地域における改善事業の経費に補助し、地方改善を促進する（地方改善施設の災害時等の対応に備える）。</p>

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R)	R3年度 実績	R4年度 目標	R5年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						

補助金交付実績 (単位：千円)	R元年度	R2年度	R3年度
	0	0	0

(これまでの取組内容と成果)

令和 2 年度	地方改善施設に対する災害時等の対応に備えることができた。
令和 3 年度	地方改善施設に対する災害時等の対応に備えることができた。
令和 4 年度	<p style="color: red;">令和6年度当初予算にて追加</p>  <p>指標① 目標： _____ 実績： _____ 達成率： _____ %</p>

(事業の評価)

<p>・ 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</p>	
(評価) 2	国庫補助要件に満たない事業に対応することとしている。
<p>・ 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり(単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり) 2：期待どおりの成果あり(単年度目標100%達成) 1：期待どおりの成果が得られていない(単年度目標50~100%) 0：ほとんど成果が得られていない(単年度目標50%未満)</p>	
(評価) 2	地方改善施設の災害等による被害に対応することができる。
<p>・ 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</p>	
(評価) 1	交付要綱に基づき実施している。

(今後の課題)

<p>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 施設の老朽化が進んでおり、災害等への備えを向上させる必要がある。</p>

(次年度の方向性)

<p>・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 施設の老朽化が進んでおり、災害時に迅速に対応できるように備えることがより重要になってきている。</p>
